

みんなで 災害に強い森づくりを考えよう！



箕面では貴重なオバノハイチジョウシダ

9月に入っても、連日危険な暑さが相次いだ、この夏。昨年にも続き、今年も「異常気象」でした。

記録的な高温の背景には、偏西風の北への蛇行の他、地球温暖化や日本近海の高い海水温などがあるとされています。

このまま地球温暖化と海水温の上昇が続くと、台風が北上しても勢力が衰えず、今まで以上の災害が発生することが危惧されています。

箕面の市街地の背後には、急峻な山麓部がせまっています。局地的な集中豪雨が発生すると、土石流の発生、溪流沿いの木を巻き込んで、流木が河川や水路などをふさぎ、市街地が冠水するなどの被害が発生し、山すそに住む、私たちの生命や財産が危険にさらされることとなります。

想定を大きく超える豪雨や水害の激甚化・頻発化に備えるため、大阪府では、大阪府森林環境税を活用して、自然災害から市民・府民の生命財産を守るため、土石流・流木対策／森林部における治山ダム整備などの事業を行っています。

8月末から箕面市如意谷地区(林道オケ原線沿い)では、貴重なシダを保護しながら、治山事業(危険溪流流木対策事業)が行われています。このような行政による取り組みだけでなく、山林所有者や市民による山麓保全活動の取り組みなど、みんなで 災害に強い森づくりを考えて、進めていく必要があるでしょう！

箕面の山、短い「いのち」の輝き、これからも輝き続けられますように！

山にも川にも、草や木や虫たちにも、すべてに「いのち」があり、生命の輝きがあります。夏から秋、秋から冬へと移り行く時間は、その旅のなかにあり、その時々「いのち」の輝きにあふれています。

人も 草や木や虫たちも、ひとつの大きな生態系により生かされている・・・ 短い箕面の山での輝きですがこれからも輝き続けられるよう、次の世代に引き継いで行かなければと 思うばかりです。



アサギマダラ



ノコンギク



コムラサキ



アケボノソウ



ノブドウ



リンドウ



カラスウリ



ルリビタキ

8月3日(土) 第3回山林整備ボランティアの安全管理講習を開催しました。

山林整備のボランティア活動は、箕面山の景観を美しく、森としての機能回復維持には欠かせません。しかし、そこには**事故につながるリスク**が潜んでいます。

そこで、8月3日(土)、講師に日本森林ボランティア協会から救急法の専門家を招き、今年度のボランティア派遣参加予定者を対象に、より実践的な安全管理講習会を実施しました。講習会には、みのお里プラ、杜の会、箕面の森のきこり隊、みのおフォレストーズなどの活動団体から30名が参加しました。講義では「山作業での危険とその回避方法」として、①危険な植物②危険な動物③天気の変化などへの対処方法を習い、実習では傷病者発見から119番通報までのポイント、三角巾を使った止血方法やレジャーシートを使っての担架の作り方など、**具体的な応急手当の方法**を学びました。なお、今回参加できなかった方々を対象に、10月13日(日)に再講習が実施されます。



箕面ドライブウェイ沿い斜面に不法投棄ゴミ。ゴミの不法投棄は犯罪！

8月5日(月)、市民ハイカーから、ビジターセンターを勝尾寺方面へ向かった北摂霊園分岐の手前に、大きな土嚢袋、ビニール袋が川の中に投棄されているとの通報がありました。8月10日(土)、箕面の山パトロール隊が現地に赴き、回収作業を行いました。不法投棄ゴミの中身は、電線の中の銅線を取り除いた外側の被覆部分などで、土嚢袋は、一袋でおよそ20~30キログラムの重さがあり、総重量は**150キロを超える**ほどの量でした。さらに、通報現場から車で10分ほど東に行った、勝尾寺川沿いの車道横斜面にも同様の土嚢袋などに入れられた15袋の大量不法ゴミと木材ゴミの投棄が見つかりました。

ゴミの不法投棄は犯罪です！不法投棄をした人は、法律により5年以下の懲役、もしくは1,000万円以下(法人の場合は3億円まで加算されることもあります)の罰金またはその両方が科せられます。※不法投棄を目撃したときは、箕面警察署(072-724-1234)に通報してください。



ハイキング道の倒木処理を山林ボランティア団体が協力して実施しました。

8月14日(水)、市民から、如意谷団地のオヶ原川左岸沿いのハイキング道上に、危険な倒木があると山麓委員会に通報がありました。翌日、箕面の山パトロール隊が現地を確認すると、枯れマツの倒木が折れてハイキング道上に宙吊り状態でした。山麓保全委員会が箕面市と対応を協議した結果、8月23日(金)、みのおフォレストーズ所属のボランティアほか5名が除去作業を実施しました。里道(ハイキング道の多く)の倒木処理や道崩れについては、箕面市道路管理室が管理者ですが、山の中の案件では十分に対応できないのが現状です。そこで、**行政と市民ボランティアが「協働」**(それぞれが違う立場でできることを行う)して、比較的危険度が低い作業については、市民ボランティアが対応してきました。

山麓保全委員会では、委員会内に「山林部会」を設置し、機動的に対応できる仕組みづくりの検討を進めています。



10月12日(土) 第11回山林整備サポート・ボランティア養成講座を開催！



箕面の森で活躍！山林整備ボランティア養成講座

☆日時:10月12日(土)午前10時～午後3時※少雨決行

☆集合:9:45皿池公園(箕面市粟生外院5丁目)

☆内容:午前、基本的な技術や安全知識を学ぶ講義。
午後、近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験。

☆参加費:無料、事前申込みが必要



↑参加申込フォーム

山林所有者の高齢化や遠隔地に住んでいることなどで、自然緑地指定に同意された山林所有者からのボランティア派遣要請件数が増えており、2024年度は62件の要請を受けています。(前年より1件増、一昨年より6件増) 毎年増えている山林所有者からの派遣要請に応えるために、一緒に活動していただけるボランティアを募集しています。山林整備ボランティア養成講座(技術や知識を学ぶ講義+野外での実習)を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！作業のしやすい冬の期間に、倒木処理や間伐などの活動を箕面の山林で行っています。初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒になので安心して活動することができます。



11月3日(金・祝) 山とみどりのフェスティバル《体験フェア》を開催！



箕面の山のみどりとまちのみどり、**みんなで守り、育て、活かす、ご家族で楽しむ企画**がいっぱいです。

- ★ ○山のみどりを守る活動紹介:箕面の植物や生き物・清水谷での活動紹介、里山の手入れや保全活動の紹介など
- ★ ○ステージ企画:「雨水の冒険」「もくざいの秘密」の紙芝居上演、「瀧道クイズ」、「箕面の森の音楽会」による演奏
- ★ ○まちのみどりを守る活動(阪急箕面駅前ステージ):ハヤトウリや干し柿用カキ販売、竹トンボ作り、子どもバザー

日時:11月3日(日・祝)

午前 10時30分～午後3時30分

場所:瀧安寺前広場・箕面駅

前広場など ※雨天中止

☆家族で楽しむ工作・体験コーナー:

【工作】木の切れはしなど自然素材やヒノキ材を使った工作、キーチェーン・バードコール、瀧ノ道ゆずるのしおり作り

【体験】竹てっぽう体験、ヒノキのきこり体験、瀧安寺ミニガイド、ハンモック体験など



11月10日(日)山とみどりのフェスティバル《生物多様性研究フォーラム》を開催！



2024年の生物多様性研究フォーラムのテーマ

「みんなで考えよう！災害に強い持続可能な森づくり」。

身近に存在する豊かな自然の恵み、地球温暖化により頻発し激甚化する自然災害の脅威、持続可能な地域社会を実現するために、私たちは、どのように考えればいいのでしょうか？災害をしなやかに避けながら、賢く利用する、持続可能な森づくりを一緒に考えたいと思います。お気軽にご参加ください！

【講演】

「産学官民連携によるグリーンインフラ・NbS(自然に根差した解決策)の展開」

◇ 京都産業大学 生命科学部 産業生命科学科 准教授 西田 貴明 氏

【報告】

①森林が持つ防災・減災機能の向上と森林整備の仕方について

◇(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 池口 直樹 氏

②大阪府森林環境税の活用と箕面山麓部での森林防災事業について

◇大阪府北部農と緑の総合事務所 森林課 中尾 隆暉 氏

③箕面の自然の恵みと災害、持続可能な森づくりへの現状と課題について(仮)

◇NPO法人みのお山麓保全委員会 事務局 高島 文明

【質疑応答】

◇コーディネーター

公益社団法人 大阪自然環境保全協会 常俊 容子 氏

日時:11月10日(日)13:30～16:00

場所:箕面船場生涯学習センター

6階多目的室

※北大阪急行箕面船場阪大前駅

参加費::無料 事前申し込み:80名

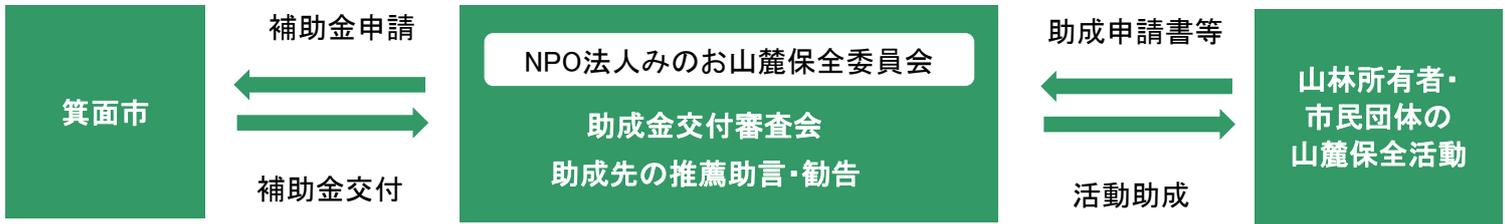


参加申込フォーム↑

持続的な仕組みによる山麓保全活動の着実な推進

「みのお山麓保全活動助成金」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。山麓保全委員会は、中間支援組織として、市民や山林所有者の活動支援や山麓保全活動助成金を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。お気軽に山麓保全委員会事務局(電話:072-724-3615 携帯:090-8926-3615)にご相談ください。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



箕面山麓保全活動助成 2024年度後期(8月)の助成を決定

■山林所有者(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)による活動を助成

件数:10件、筆数:32筆、面積:44,617㎡、助成金額:1,014,700円

☆山林整備ボランティア派遣要請件数:8件 ☆新規自然緑地同意件数:0件

■市民団体等による活動を助成 件数3件、助成金額:227,000円

活動団体名	保全活動名	助成金額
1. しおんじ山の会	池ノ谷緑地再生・活用・整備作業	¥119,000
2. マウンテンバイク友の会	粟生高原自然歩道の整備活動	¥38,000
3. 中高大連携森林学習プロジェクト	森林保全のパンフレット作製・配布による啓発活動	¥70,000

2024年度合計 山林所有者による みのお山麓保全活動の助成

○件数・・・90件(前年比1件増) 助成金額・・・9,248,800円(前年比48,500円増)

筆数・・・251筆(前年比5筆増) 面積・・・459,904㎡(前年比1,944㎡増)

※山林整備ボランティア派遣要請62件(前年比1件増)

2024年度合計 市民団体による みのお山麓保全活動の助成

○件数・・・18件(前年比2件増) 助成金額・・・1,971,000円(前年比113,400円増)



箕面ビジターセンターの企画運営業務、みのお山麓保全委員会に決定されました。

明治の森箕面国定公園は、都市近郊にありながら約1,100種の植物、3,000種の昆虫が生息する「自然の宝庫」であり紅葉や滝の景勝地とその周辺の森林を合わせた963haの地域です。

箕面ビジターセンターは、自然環境保全の推進、自然公園の安全利用の促進等のため、明治の森の拠点施設として大阪府が設置したものです。

6月から行われた大阪府の「箕面ビジターセンター企画運営業務」に係る、参加意思確認公募手続に係る公示が行われた結果、NPO法人みのお山麓保全委員会に決定されました。

○業務期間・・・令和6年10月1日から令和9年9月30日までの3年間

○業務概要・・・ ①自然観察・ハイキング等企画事業の実施、②情報誌等による明治の森の魅力や自然公園の利用等に関する広報事業、③展示室の企画運営、④自然解説員の配置

※事務所の受付など、施設管理業務は別会社が受託予定であり、山麓保全委員会が受託する業務ではありません。

多くの団体や市民の皆さまと連携し、明治の森を訪れる国定公園利用者に喜んでいただけるような活動を行います。皆さまのご指導とご支援ご協力をお願いします。



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル301号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-8926-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: <https://yama-nami.net>(検索:山なみネット)

*箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

